

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 2020年8月4日

【四半期会計期間】 第117期第2四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社正興電機製作所

【英訳名】 SEIKO ELECTRIC CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 添田 英俊

【本店の所在の場所】 福岡市博多区東光二丁目7番25号

【電話番号】 (092)473 - 8831(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営統括本部長 田中 勉

【最寄りの連絡場所】 福岡市博多区東光二丁目7番25号

【電話番号】 (092)473 - 8831(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営統括本部長 田中 勉

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第116期 第2四半期 連結累計期間	第117期 第2四半期 連結累計期間	第116期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2020年1月1日 至 2020年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (百万円)	12,405	10,661	24,514
経常利益 (百万円)	498	515	1,006
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	326	449	700
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	131	444	270
純資産額 (百万円)	8,926	9,549	9,208
総資産額 (百万円)	18,238	19,528	21,379
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	27.03	37.14	57.99
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	48.9	48.9	43.1
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,062	568	1,718
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	64	387	348
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,195	115	1,319
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	1,310	1,855	1,558

回次	第116期 第2四半期 連結会計期間	第117期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	3.58	13.17

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

(その他)

2020年3月1日付で、当社は連結子会社であった株式会社正興C & Eを吸収合併しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が終息の兆しを見せていない中、徐々に活動を再開しておりますが、企業や個人は未だに活動制限を求められており、停滞感が続いております。また、感染拡大の第二波も懸念されていることから、景気の先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは2021年度の創立100周年に向け、中期経営計画（SEIKO IC2021）のもと、「事業の拡大」と「高収益体質への転換」の実現に向け、「グループ総合力発揮による社会イノベーション事業の展開」「海外事業の拡大」「生産性の向上」の3つの重点施策に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、サービス部門において太陽光発電所向け設備の販売が減少したことや、環境エネルギー部門において、新型コロナウイルス感染症の影響により中国現地法人の事業活動が停滞したこと等により、売上高は10,661百万円（前年同期比 14.1%減）となりました。

損益につきましては、環境エネルギー部門において公共分野の採算が改善したことや、サービス部門において検温カメラの販売が好調に推移したこと等により、営業利益は512百万円（前年同期比 9.9%増）となりましたが、投資有価証券評価損の計上により経常利益は515百万円（同 3.4%増）に留まりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、完全子会社の吸収合併による税務上の繰越欠損金の引継ぎや、税効果会計の評価見直し等の影響により449百万円（同 37.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（電力部門）

OT（制御・運用技術）・IT（情報技術）を活用した情報制御システムや発電機・配電向け製品の拡販に取り組みましたが、売上高は2,782百万円（前年同期比 2.4%減）、セグメント利益は253百万円（同 21.1%減）となりました。

（環境エネルギー部門）

国内の公共分野において水処理設備向け監視制御システムや道路設備向け受配電システムが堅調に推移したものの、中国事業において新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で事業活動が停滞したこと等により、売上高は5,348百万円（前年同期比 8.7%減）となりましたが、公共分野において工事採算が改善し、セグメント利益は138百万円（同 599.5%増）となりました。

（情報部門）

港湾分野やヘルスケア分野の介護システム及び健康管理システム等が低調であったものの、金融関係や一般企業向けのシステム開発が堅調に推移し、売上高は561百万円（前年同期比 1.1%増）、またセグメント利益は、システム開発分野の採算が改善したことにより31百万円（同 71.5%増）となりました。

（サービス部門）

大口の太陽光発電設備関連製品の減少により、売上高は1,164百万円（前年同期比 49.7%減）となりましたが、新型コロナウイルス感染症の対策商材として検温カメラの拡販などに努めた結果、利益率が改善し、セグメント利益は87百万円（同 197.3%増）となりました。

(その他)

制御機器関連やオフィス向けの調光フィルムが低調に推移したこと等により、売上高は805百万円(前年同期比2.1%減)、セグメント利益は1百万円(同 97.8%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して2,002百万円減少の12,923百万円となりました。これは主に、仕掛品が362百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が2,796百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して151百万円増加の6,605百万円となりました。これは主に、有形固定資産が取得等により232百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して2,164百万円減少の7,646百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,723百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して27百万円減少の2,332百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比較して341百万円増加の9,549百万円となりました。これは主に、利益剰余金が剰余金の配当により120百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により449百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ297百万円増加し、1,855百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、568百万円(前年同期は2,062百万円の増加)となりました。これは、主に仕入債務の減少1,622百万円やたな卸資産の増加542百万円によりキャッシュ・フローの減少があったものの、売上債権の減少2,783百万円によりキャッシュ・フローが増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、387百万円(前年同期は64百万円の減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出391百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、115百万円(前年同期は2,195百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払い120百万円があったものの、短期借入金の増加253百万円によりキャッシュ・フローが増加したことによるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は57百万円であり、この中には受託研究等の費用14百万円が含まれております。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年8月4日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,603,595	12,603,595	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数100株
計	12,603,595	12,603,595		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日		12,603		2,607		1,887

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
みずほ信託銀行株式会社 退職 給付信託 九州電力口 再信託 受託者 資産管理サービス信託 銀行株式会社	東京都中央区晴海一丁目8番12号	1,736	14.34
株式会社九電工	福岡市南区那の川一丁目23番35号	1,619	13.37
西日本鉄道株式会社	福岡市博多区博多駅前三丁目5番7号	933	7.70
株式会社日立製作所	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	830	6.85
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(三井住友信託銀行 再信託分・西部瓦斯株式会社退 職給付信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	554	4.58
株式会社福岡銀行	福岡市中央区天神二丁目13番1号	517	4.27
株式会社西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号	459	3.79
土屋達雄	福岡市中央区	290	2.39
土屋直知	福岡市中央区	266	2.20
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	244	2.01
計		7,452	61.54

(注) 1 上記のほか当社所有の自己株式494千株があります。

2 九州電力株式会社は2013年9月6日付で退職給付信託契約をみずほ信託銀行株式会社と締結し、保有する当社株式の全部1,736千株を信託財産として拋出してあります。

3 2020年5月18日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、九州電力株式会社及びその共同保有者である九州電力送配電株式会社が2020年5月15日現在で以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができておりません。

なお、その変更報告書に記載されている保有株券等の内訳は、次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
九州電力株式会社	福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号	1,004	7.97
九州電力送配電株式会社	福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号	731	5.81

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 494,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,097,300	120,973	
単元未満株式	普通株式 11,595		
発行済株式総数	12,603,595		
総株主の議決権		120,973	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式80株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が900株(議決権9個)が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社正興電機製作所	福岡市博多区東光二丁目 7番25号	494,700		494,700	3.92
計		494,700		494,700	3.92

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,632	1,929
受取手形及び売掛金	1 10,047	7,250
商品及び製品	494	677
仕掛品	2,090	2,453
原材料	320	310
その他	357	314
貸倒引当金	17	12
流動資産合計	14,925	12,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,843	2,161
その他(純額)	1,380	1,295
有形固定資産合計	3,224	3,457
無形固定資産		
	184	157
投資その他の資産		
投資有価証券	2,919	2,876
その他	134	123
貸倒引当金	8	8
投資その他の資産合計	3,044	2,991
固定資産合計	6,453	6,605
資産合計	21,379	19,528
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,139	2,416
電子記録債務	1,583	1,671
短期借入金	1,390	1,631
未払法人税等	256	98
賞与引当金		338
工事損失引当金	6	1
その他	2,433	1,488
流動負債合計	9,810	7,646
固定負債		
退職給付に係る負債	1,866	1,853
その他	493	479
固定負債合計	2,359	2,332
負債合計	12,170	9,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,607	2,607
資本剰余金	1,932	1,942
利益剰余金	4,020	4,348
自己株式	238	229
株主資本合計	8,321	8,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,113	1,102
為替換算調整勘定	101	106
退職給付に係る調整累計額	125	114
その他の包括利益累計額合計	886	881
純資産合計	9,208	9,549
負債純資産合計	21,379	19,528

【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	12,405	10,661
売上原価	10,522	8,765
売上総利益	1,882	1,896
販売費及び一般管理費	1 1,416	1 1,384
営業利益	466	512
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	38	37
受取賃貸料	6	8
その他	9	15
営業外収益合計	55	61
営業外費用		
支払利息	11	14
投資有価証券評価損		33
為替差損	5	2
その他	6	8
営業外費用合計	23	58
経常利益	498	515
税金等調整前四半期純利益	498	515
法人税、住民税及び事業税	98	83
法人税等調整額	72	17
法人税等合計	171	65
四半期純利益	326	449
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	449

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	326	449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	465	10
為替換算調整勘定	1	4
退職給付に係る調整額	8	10
その他の包括利益合計	458	5
四半期包括利益	131	444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131	444

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	498	515
減価償却費	136	152
のれん償却額	11	11
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	34	5
貸倒引当金の増減額(は減少)	1	4
受取利息及び受取配当金	39	37
支払利息	11	14
売上債権の増減額(は増加)	3,304	2,783
たな卸資産の増減額(は増加)	93	542
仕入債務の増減額(は減少)	834	1,622
前受金の増減額(は減少)	380	172
その他	517	309
小計	2,316	782
利息及び配当金の受取額	39	37
利息の支払額	11	11
法人税等の支払額	283	239
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,062	568
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	65	65
定期預金の払戻による収入	65	65
有形固定資産の取得による支出	58	391
無形固定資産の取得による支出	9	0
投資有価証券の取得による支出	3	3
その他	6	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	64	387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,991	253
長期借入金の返済による支出	41	
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	144	120
リース債務の返済による支出	17	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,195	115
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	207	297
現金及び現金同等物の期首残高	1,517	1,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,310	1,855

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であった株式会社正興C & Eは、2020年3月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
受取手形	13百万円	百万円

2 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	118百万円	28百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
退職給付費用	31百万円	34百万円
給料及び手当	510百万円	519百万円
賞与引当金繰入額	89百万円	112百万円

2 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社グループの売上高は、事業の性質上、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間と比較して多くなる傾向があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金	1,384百万円	1,929百万円
預入期間が3か月超の定期預金	74百万円	74百万円
現金及び現金同等物	1,310百万円	1,855百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月8日 取締役会	普通株式	144	12.00	2018年12月31日	2019年3月12日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には東京証券取引所市場第一部指定記念配当2円00銭が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年7月24日 取締役会	普通株式	120	10.00	2019年6月30日	2019年8月23日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年1月31日 取締役会	普通株式	120	10.00	2019年12月31日	2020年3月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年7月31日 取締役会	普通株式	121	10.00	2020年6月30日	2020年8月31日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,851	5,860	555	2,315	11,582	822	12,405		12,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高		2	110	385	498	249	747	747	
計	2,851	5,863	665	2,700	12,080	1,071	13,152	747	12,405
セグメント利益	321	19	18	29	388	77	466		466

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、電気工事、機械器具設置工事であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力 部門	環境 エネルギー 部門	情報 部門	サービス 部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,782	5,348	561	1,164	9,856	805	10,661		10,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	15	123	420	560	152	712	712	
計	2,783	5,364	684	1,584	10,416	957	11,374	712	10,661
セグメント利益	253	138	31	87	510	1	512		512

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、電気工事、機械器具設置工事であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	27円03銭	37円14銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	326	449
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	326	449
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,074	12,095

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第117期(2020年1月1日から2020年12月31日まで)中間配当について、2020年7月31日開催の取締役会において、2020年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	121百万円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年8月31日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月3日

株式会社正興電機製作所
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中	田	信	之
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	池	田		徹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社正興電機製作所の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社正興電機製作所及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。